

第4回宮古水まつり開催

第4回宮古水まつり(主催：宮古水まつり実行委員会、主管：宮古土地改良区)が「水は全ての命の源、水への感謝の心を」をテーマに、平成25年6月30日(日)午後2時より宮古島市城辺福東の地下ダム資料館及び地下ダム水位水質監視施設周辺にて開催された。

当日は地下ダム資料館や管理棟が無料開放され、宮古島の水に関する歴史や地下ダムの仕組みについて理解を深めてもらい、併せて、水に関する子供絵画展の入選作品が掲示された。また会場には、地下ダムの水を利用した特設プールやウォーターライダーが設置され、子ども達の歓声が響いた。

4時から行われた式典では、主催者を代表して仲間克実行委員長が、「命の根源である水のありがたさ、尊さを再認識し、水を生かした農業の振興を図り、地域活性化の拠点として、また、観光の振興にも寄与することを目的に開催する。」と挨拶した。続いて沖縄総合事務局馬場一洋農林水産部長(代読)、台北駐日経済文化代表粘信士那覇分處長(代読)の来賓祝辞が述べられた。

引き続き監視施設において、「比嘉の獅子舞」、「水の舞」、「龍の舞」、「下地原クイチャー」が披露された。中でも「龍の舞」は、台湾龍師団より手ほどきを受け今年で2年目となるが、使用する水神の「龍」は今回初お披露目であった。

午後5時40分からは資料館前の特設ステージで絵画展の表彰式を始め、ヒップホップダンス、台湾獅子舞、歌謡ショー、中国国技の「四川変面」など多彩なパフォーマンスが披露され、詰めかけた大勢の観客を魅了した。最後はもちろん、観客も一体となってクイチャーを踊りまつりを閉めた。

今年は昨年より15%増の約7,000人が来場し、様々なイベントを楽しんだ。本格的な夏を迎えたこの時期の宮古島の一大イベントとして定着しつつある。



暑さをものともせず賑わったちびっ子ウォーターランド



オープニング
セレモニー
「比嘉の獅子舞」



仲間水まつり実行委員長の挨拶

沖縄総合事務局農林水産部長挨拶
(代読)





台北駐日経済文化代表
那覇分處長挨拶（代読）



龍の舞



下地原
クイチャー



子供絵画コンテストの表彰式